

南摩ダムの湖名を発表しました。



新たに生まれる南摩ダムのダム湖の名称については、昨年9月25日から12月19日まで募集し、総数303通もの多くの方から応募頂きました。

応募いただいた名称を3月18日に開催した南摩ダム水源地域ビジョン策定委員会にて審議し、「かぬま梶又湖」と選定しました。

3月25日に開かれた鹿沼市長定例記者会見内の「輝く鹿沼のチカラ」において、ミス日本「水の天使」とともに湖名を発表させていただきました。



(左：一ノ瀬所長、右：ミス日本「水の天使」志村美帆さん)



(左から松井鹿沼市長、水の天使、一ノ瀬所長)

【ダム湖名に込められた思い】

「梶又（かじまた）」は、貯水池内にあった小字名で、梶又小学校をはじめ、地域の多くの皆様の思い出が詰まった地名を後世に伝えたいという思いが込められています。

「かぬま」は、鹿沼市の名を全国的に広め、訪れる人々が、より親しみやすい湖となるようにとの思いが込められています。